

## 1. 授業の実際

第1次では、子どもたちは、日本の自動車の普及が過去から現在にかけて国民生活にもたらした変化について、気づきや疑問を交流していった。子どもたちは交流をとおして、自動車の普及によって国民生活が便利で豊かになったことに気付くことができた。また、自動車の普及が、自動車の大量生産のしくみの確立や自動車の価格の低下につながったことも見出していった。そして、日本の自動車がどのようにつくられているのかという問いを解決するために、自動車の組み立て工場を見学することにした。

第2次では、子どもたちは自動車の組み立て工場をオンラインで見学した。見学をとおして、子どもたちは、自動車製造に携わっている人々が行っている工夫の具体を捉えるだけでなく、それらの工夫がすべて「精確性」「効率性」「安全性」というよきにつながっていることを見出すことができた。さらに子どもたちは、自動車製造に携わっている人々が、自動車製造の工夫によって「自動車の普及によって起こる問題」を解決しようとしている事実を目を向けた。子どもたちは、国民生活を便利で豊かにしてきた自動車の普及が別の問題を引き起こしているという事実に気付くことができたのである。

第3次では、子どもたちは、自動車の普及によって「交通事故の多発」と「排気ガスによる環境汚染」という2つの問題が起きていることを捉えた。そして、この2つの問題の解決に向けて、自動車メーカーがどのような自動車の開発に取り組むとよいかについて考えていった。子どもたちは、交通事故を起こさない自動ブレーキなどを搭載した安全性の高い自動車や、水素自動車や電気自動車など環境にやさしい自動車を開発していくことが2つの問題の解決につながることを見出した。さらに子どもたちは、安全性が高く、環境にやさしい自動車の普及によって、国民生活がどのように変化していくかについて考えていった。



<第3次2時の板書>

子どもたちは、開発している自動車の普及によって「交通事故の多発」と「排気ガスによる環境汚染」という国民生活における2つの問題は解決できても、自動運転技術の発達によって引き起こされる、自動車産業における雇用の損失や、電気エネルギーへの転換に起因する電力不足など、国民生活の新たな問題にも目を向けることができた。

## 2. 今後に向けて

子どもたちは日本の自動車産業が国民生活に果たしている役割や、日本の自動車の普及がもたらす国民生活の変化について、考えを深めていった。そのような学びをとおして、日本の産業の発展を願い、日本の将来を担う国民としての自覚をもつことのできる子どもを育成していきたいと考えている。